

日本工学院専門学校		開講年度	2019年度		科目名	特別講義 3	
科目基礎情報							
開設学科	放送芸術科		コース名		開設期	前期	
対象年次	1年次		科目区分	選択		時間数	60時間
単位数	4単位				授業形態	講義	
教科書/教材	毎回レジュメ・資料を配布する。						
担当教員情報							
担当教員	高沢敦博			実務経験の有無・職種	有 映像制作		
学習目的							
通年のスケジュールが確保できず、なかなか学校に来ていただけない業界の一線で働く方々のお話を聞く。その業界の未来や、必要とされる人材についてなどの情報を得て、将来設計に役立てることが目的である。							
到達目標							
もちろん講師によって内容や目的は異なるが、話を聞く前よりもモチベーションや業種の理解を深めることが目標となる。							
教育方法等							
授業概要	時に講師が関わった映像や、パワーポイント資料を使いながら講義を進行する。						
注意点	この授業を選択した学生は、より積極的な意識で受講してほしい。授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。						
評価方法	種別	割合	備 考				
	試験・課題	0%					
	小テスト	0%					
	レポート	0%					
	成果発表 (口頭・実技)	50%	授業時間内に行われる発表方法、内容について評価する				
	平常点	50%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する				
授業計画（1回～10回）							
回	授業内容		各回の到達目標				
1回	映像制作会社総務部勤務の方①		業界の社会保障や労働の実際を知る①（大手編）				
2回	映像制作会社総務部勤務の方②		業界の社会保障や労働の実際を知る②（中小企業編）				
3回	フリーランスの働き方①		企業に属さない働き方のメリットとデメリットを知る①（テレビ編）				
4回	フリーランスの働き方②		企業に属さない働き方のメリットとデメリットを知る①（映画編）				
5回	業界OBOG逆訪問①（テレビ制作）		本来はこちらから訪問すべき一線で働くOBOGに、学生を訪問して現状を話していただく①				
6回	業界OBOG逆訪問②（映画制作）		本来はこちらから訪問すべき一線で働くOBOGに、学生を訪問して現状を話していただく②				
7回	業界OBOG逆訪問③（美術・道具）		本来はこちらから訪問すべき一線で働くOBOGに、学生を訪問して現状を話していただく③				
8回	業界OBOG逆訪問④（カメラ）		本来はこちらから訪問すべき一線で働くOBOGに、学生を訪問して現状を話していただく④				
9回	業界OBOG逆訪問⑤（照明）		本来はこちらから訪問すべき一線で働くOBOGに、学生を訪問して現状を話していただく⑤				
10回	業界OBOG逆訪問⑥（DITカラコレ）		本来はこちらから訪問すべき一線で働くOBOGに、学生を訪問して現状を話していただく⑥				